

習志野市立第二中学校 社会科 第2学年 シラバス

【学習の目標等】

- 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。
- 現代社会の見方、考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。

【評価の観点及び内容、方法】

観点	内容	方法
知識・技能	・年表、地図、グラフ、写真などの資料を適切に読み取ることができ、授業で扱った内容を理解し、知識を身につけている。	定期テスト 小テスト
思考・判断・表現	・さまざまな社会科の見方や考え方をもち、意見や感想を自分の言葉で表現できる。	定期テスト 小テスト 提出物の内容 授業の取り組み など
主体的に学習に取り組む態度	・知識・技能や思考力の修得にむけて粘り強く学習し、試行錯誤して自らの学習を調整しながら、自主的に取り組んでいる。	定期テスト 小テスト 提出物の内容 授業の取り組み など

【教科担任からのメッセージ】

（１）社会科の学習について

人間は単純な「群れ」から始まり、高度な「社会」を形成することで暮らしを豊かにして生活してきました。社会科の学習では、そんな人間社会の構造を「地理」、「歴史」、「公民」と3つの分野から学習し、より良い「社会」を形成していくためにはどうすればよいのか考えを深めていきます。様々な資料を活用し、対話的な学習をしながら学びを深めていきましょう。

（２）授業の持ち物

授業で使う道具

- ① 教科書 ②地図帳 ③ノート ④ 筆記用具 ⑤タブレット ⑥ファイル

（３）授業の進め方・学習のポイント

- ①日頃から忘れ物をせず、宿題などの提出物は、必ず提出期限を守りましょう。
- ②授業は受け身でなく、問いかけに反応したり、発言するなど積極的に参加しよう。
- ③単元の問いや、それを追究するためのテーマを意識し、調べ、まとめることができるようにする。そして、調べたりまとめたりする学習から、単元の問いに対して様々な視点や角度から考えて自分の意見を表現できるようにしよう。

（４）家庭学習について

- ①ワークは指示が出る前にどんどん進めましょう。
- ②eライブラリーもどんどん進めましょう。
- ③教科書はすみずみまで読みましょう。

【学習計画】（週時間数 3時間）

	題材・学習内容	学習のねらい
1 学期	歴史分野 第4章 近世の日本と世界 地理分野 第2章 日本の地域的特色と地域区分 第3章 日本の諸地域	○近世の日本と世界の社会の様子について予想を立て、理解を深める。 ○日本の国土を地域区分し、地域的特色を多面的・多角的に考察し、全体像を理解する。 ○各地域に充てた学習の視点から多面的・多角的に考察し、事象間の関係性の理解を深める。
2 学期	歴史分野 第5章 日本の近代化と国際社会 地理分野 第3章 日本の諸地域	○近代の日本と世界の社会の様子について予想を立て、理解を深める。 ○各地域に充てた視点から多面的・多角的に考察し、事象間の関係性の理解を深める。
3 学期	地理分野 第3章 日本の諸地域 第4章 地域の在り方 歴史分野 第6章 二度の世界大戦と日本	○各地域に充てた視点から多面的・多角的に考察し、事象間の関係性の理解を深める。 ○地域調査の手法を学ぶとともに、地域のあり方や地域的特色を多面的・多角的に考察し、課題解決に向けての考察を深める。 ○大戦期の日本と世界の社会の様子について予想を立て、理解を深める。